

市長とミライとーく 報告書

令和6年10月17日

日 時	令和6年9月30日（月）19：00 ～ 20：30		
会 場	本町BASE（関市本町6丁目4－1）		
対 象 者	関市内で創業を目指す方、創業して間もない方	参加者	12人
テ ー マ	「創業チャレンジのまちに向けて」		
担 当 課	産業経済部商工課		
【参加者からの意見】 <テーマ①「創業に対する課題」> ・他県の出身者が関市内で創業しようとする場合、伝手（つて）がないと物件探しのハードルは高い。 ・関市に駐車場が少ない。車で移動する人が多いので、駐車場がないとお店に入りにくい。 ・商店街を盛り上げたいが、お店の数が少ない。 <テーマ②「関市が創業チャレンジのまちになるためには」> ・新規創業を始める際に、資金繰りで苦労することが多いため、初心者に向けた助成金や補助金の知識をつける場所を設けてほしい。 ・SNSでフォロワーを増やしてお店の告知をしても、来店に結びつかない。 ・関市ビジネスサポートセンター（セキビズ）に土日も相談できるとよい。 【参加者からの提案】 （創業に関する給付金や補助金について） ・商工関係の補助金については、県のLINEを登録すると参考になる。 ・J－NET21というHPでは、創業者向けの都道府県別の補助金・給付金の情報が発信されているので有益な情報が手に入りやすい。 （セキビズの相談時間について） ・土日までセキビズをあけるのは大変だと思うので、平日の早い時間や遅い時間に相談時間を設けるのはどうか。 （商店街振興について） ・入りやすい、まとまった駐車場が市街地中心部にあるといい。 ・商店街のレトロな雰囲気を魅力として活かしていきたい。 ・商店街のお店の中でも、お互いに助け合いが広がるといい。 ・本町BASEを創業チャレンジの場所として活用してほしい。			

・関市の郊外の古民家や空き家などを活用して、本町B A S Eのようなシェアキッチン の場所を 広げていくのはどうか。

【担当課の考え】

今回は、昨年度のビジネスプランコンテストの入賞者や今年度の参加者、新規で創業にチャレンジしたい方などさまざまな立場の方にご参加いただき多様なご意見をいただいた。

創業するにあたって、創業の際に活用できる補助金や給付金の情報を知るための場所や機会が必要という意見が多く挙がった。市は、市補助金以外の補助金の情報については、関商工会議所のような専門機関ほど情報量が充実していないのが現状である。創業者に対して、関市中心市街地活性化総合支援補助金やクラウドファンディング創業応援補助金など市が主導で行う補助金について積極的に情報提供を進めていくとともに、国や県が行っている補助金については情報発信している専門機関へつないでいくことが重要である。

また、創業支援の場所として、セキビズを活用している参加者が多く見受けられた。その中で、セキビズの相談時間について、仕事を行いながら新規創業を始める方には平日に相談に行くことが難しいという意見があったため、平日夜の相談も今後充実させる必要があると考える。

その他には、本町商店街全体をもっと盛り上げていくことが重要ではないかという意見もあった。参加者の中にも、過去に本町B A S Eに出店し、直接お客さんの声を聞くことで手ごたえを感じ、創業に踏み出したという人も多くみられた。創業にチャレンジする場所として、本町B A S Eを活用する方針を進めていきたい。今回のトークの中では、物件探しにおいてご自身の伝手（つて）や、地域の方からの情報によっていい物件を見つけ出したという話があった。創業チャレンジのまちになるためには、市役所だけで情報発信を行うだけではなく、創業を目指す人同士がつながり、情報共有ができるような場所を提供し、関市で創業しやすい雰囲気を醸成していくことが重要であると考える。

【今後の対応】

- ・創業セミナーの内容に小規模事業者持続化補助金などの補助メニューの解説を復活
- ・創業セミナーの周知方法（あんしんメール・市内へのチラシの配架）の見直し
- ・関市ビジネスサポートセンターの平日夜間の相談対応の充実
- ・創業を目指す方同士が情報共有を行う場所の提供
- ・創業支援施設としての、本町B A S Eの活用

【当日写真】

